

2022年度「自立援助ホーム支援助成」事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人青少年の自立を支える会
代表者・役職名 氏名 理事長 星 俊彦

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 申請事業の名称

成人祝い会(振袖を着て記念撮影と食事会)

2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

平成8年12月、星俊彦(現理事長)が自立援助ホーム設立を決意。有志が集まり設立準備会を組織。平成9年5月「青少年の自立を支える会」準備会集会。同年7月「青少年の自立を支える会」設立総会(代表に伊達悦子が就任)。
同年9月自立援助ホーム「星の家」開所。2023年3月現在会員数 300人

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

親族からの支援を受けることができない利用者は就労して貯金をし、アパートでの自立を目指して日々努力しています。ホームの予算では振袖一式のレンタル、着付け費用を支出することが難しい状況にあります。
自立の為に就労している利用者は貯金から振袖の費用を捻出するのは難しいのが現状です。成人式に振袖を着て式典に参加し、友人との再会を楽しみ、ホーム全体で祝膳を囲み祝福したいと思います。一度きりの成人式を皆で祝い、幸せな思い出の1ページにしてほしいと願っています。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

2022年3月、2023年1月に自立したOGが対象
振袖レンタル一式、髪飾り、着付け、写真撮影、アルバム作成、食事代金を支出しました。
入居者・OG・職員が参加し食事会を開催しホーム全体でお祝いしました。
職員と一緒に振袖を選ぶ時から成人式が始まります。髪飾り、髪型等、考えるだけでも楽しい時間を過ごすことができました。前撮り、当日の着付け、記念撮影。アルバム作成。あきらめていたかもしれない振袖を着た笑顔を見ることができました。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

二十歳の記念に振袖を着る。夢のように思っていたことを実現でき、アルバムも作成。当日には他の入居者、食員と一緒に記念撮影。祝いの弁当を囲み思い出話をしました。「星の家」に来る前の養護施設に振り袖姿を見せに行ったAさん。実母、里親さんに見せに行ったBさん。それぞれ二十歳までの20年を振り返る機会にもなったことと思います。何年後の時間が過ぎたいつの日にか、仕上がった写真やアルバムを見て「星の家」を思い出して顔を見せてほしいです。

成人の記念に振袖を着ることができたことは本人たちにとって節目になると同時に自信をもつことができたと考えます。

当日は付き添った職員が感動の涙を流す姿があり、Aさんは「なんで？」と言いながらも嬉しそうにしていました。職員にとっても思い出深い機会をいただき感謝しています。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

令和4年に20歳になったOGも振袖を着たいと希望していましたが、仕事が忙しく振袖を選びに行くこともできず実施を断念することになってしまいました。本人はもちろんですが成長を見守ってきた職員も残念に思っています。

時期は遅れてしまっても振袖を着て記念撮影し食事を囲んでお祝いをしたいと考えています。

これを機に今後の入居者やOGも20歳の記念に同じような企画を続けていきたいと考えています。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

